



**各単産・各労組もベア要求し、2017春闘本格化！
職場から声を上げ、賃金引き上げを勝ち取ろう！！**

勝ち取ろう！2017賃金引き上げのたたかい！ ⑤

2017春闘も各単産の春闘方針に基づき、各労働組合も経営側に対し、ベースアップ要求を提出または決定し、いよいよ本格化してきました。

ベースアップによる月例賃金の引き上げを求める労働組合側に対し、経営側は賃金引き上げには前向きな姿勢が伺えるものの、経営側の示す賃金引き上げは必ずしもベースアップではなく賞与や手当などの年収ベースによる賃上げであることから、各労働組合はベースアップによる引き上げの重要性を訴えました。

基本給の底上げとなるベースアップによる賃金引き上げを！

春闘の先導役となるトヨタ自動車など自動車大手の労働組合が、経営側に今春闘の要求書を提出しました。また、日立製作所やパナソニックなど電機大手の労働組合も、今春闘の要求書を経営側に提出し、労使交渉が本格化してくる時期となってきました。

主な労働組合のベア要求（要求方針）額

自動車大手	トヨタ	3,000 円/月	電機大手	日立製作所	3,000 円/月
	日産	3,000 円/月		パナソニック	3,000 円/月
	本田技研	3,000 円/月		三菱電機	3,000 円/月
	マツダ	3,000 円/月		富士通	3,000 円/月
	三菱自工	3,000 円/月		NEC	3,000 円/月
	スズキ	3,000 円/月		NTT労組	4,000 円/月
	ダイハツ	3,000 円/月		三菱重工労組	4,000 円/月
	富士重工（スバル）	3,000 円/月		J P 労組（郵政）	6,000 円/月

自動車大手、電機大手の各労働組合は、3,000 円/月のベースアップ要求を提出し、また、その他の各労働組合でも 4,000～6,000 円/月と、ナショナルセンターである連合の「2%程度を基準」とする2017春闘方針に基づき、デフレ脱却と生活向上のため、賃金引き上げを強く訴えています。

～2017賃金改定要求～

1. 基本給ならびに初任給を、社員一律6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とすること。
3. 「エルダー社員就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。
4. 「グリーンスタッフ就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。

要求の満額獲得に向けて全組合員で職場からたたかいを創り出しましょう！